

「外国人早期適応研修カリキュラム」研修案

企業名 (担当者名)	愛知商工連盟協同組合 ([REDACTED])
テーマ (選んだ理由)	第7章「生活する／病気・けが」

目安時間	項目	内容
	◆事前準備物	参加者：サポートガイドブック 指導者：サポートガイドブック、指導者マニュアル、 保険証（実物、個人情報保護する）、パワーポイント資料 （クリニックの写真、病院の写真）
	◆到達目標	1. 病気になった時に、安心して病院に行くことができるよう、 日本における一般的な受診の流れ等を理解する。 2. 病気になった時、医療機関を探したり、診察を受けるときに 利用できる、他言語のサポートツールがあることを知る。 3. 急病や火事などの緊急時は119番に連絡することや、連絡した 際に伝える事柄などを理解する。
	◆事前課題の 確認	（疑問にすぐ答えるのではなく、皆で共有しましょう） ・事前学習として、テキストを読んでおくこと、わからない言葉 は調べておくことを宿題としてある。わからなかった言葉、表現 がないか問いかける。あった場合は、参加者にわかる人がいるか どうか問いかける。わからないことが多い場合は、今から一緒に 学んでいくことを伝える。
	◆ウォーミング アップ	（どんな対話をしますか？） ・ミャンマーで、病気になった時はどうするか問いかける。 例）病院はたくさんありますか？病院に行きますか？薬はどこで 買えますか？など。 ・ミャンマーの医療保険制度について問いかける。 例）病院のお金は、全部自分で払いますか？国が払いますか？ ・ミャンマーでは、火事や救急車を呼びたいときどうしますか？ （火事と消防車のイラスト、救急車のイラスト）
	◆活動内容	予習していることを前提に、問いかけながらガイドブックを進め ていく。 今日の到達目標を発表する。 1. 病院の選び方がわかる。 2. 受診の流れがわかる。 3. 119番の仕方がわかる。 1. 7-1 病院の選び方 Q1. 日本で、病気になりました。治したいです？どうしますか？ A (例) 病院に行きます。 Q2. 軽い病気の時にいくのはどちらですか？

コメントの追加 [0岩成1]: 項目ごとの時間配分をご記入
ください。

コメントの追加 [0岩成2]: このように参加者同士のやり
取りを促す工夫も、オンラインでは必要なことす
ね。

コメントの追加 [0岩成3]: 到達目標をしっかり確認しな
がら進めることは重要なポイントです。

		<p>(クリニックと大きい病院のイラストを見せる)</p> <p>Q3. クリニックに行きたいです。必要なものがあります。何が必要ですか？ A (例) お金、保険証 など)</p> <p>Q4. ①風邪をひきました。早く治したいです。どこに行きますか？ (①内科、②皮膚科、③眼科、④歯科 などと羅列し、読み方も含め当ててもらおう。) ②目が腫れました。痛いです。早く治したいです。どこに行きますか？ ③歯が痛い。虫歯です。早く治したいです。どこに行きますか？ ※症状の日本語表現がわからない可能性があるので、イラストで提示。</p> <p>2. 7-2 健康保険証 ・実物を見せる。</p> <p>Q 保険証がないと、どうなりますか？ A (例) 保険証がない人は、お金を全部自分で払います。</p> <p>7-3 受診の流れ ・ガイドブックのイラストをバラバラにして並び替えるワークを問いかけながら一緒にする。</p> <p>7-6 外国のことばへの対応 ・ガイドブックに載っているのは愛知県の情報であることを伝える。8回目に情報の調べ方を話すことを伝える。 ・ミャンマー語の言葉のサポートはまだ少ないことを伝えた上で、使用できるものを紹介する。 (JITCO 医療機関補助シート ミャンマー語版を紹介。) ・書けるところは事前を書いておくことを勧める。</p> <p>7-4 時間がないため、最後のひとことアドバイスのみ読み上げる。</p> <p>3. 7-5 119 番の仕方 ・火事や、救急車が必要なときどうするか予習でわかったか問いかけてみる。 ・動画を見せる。 ・時間があれば、実習生が電話をかける人、指導者が電話を受ける人の設定でロールプレイをする。 ・日本では救急車を呼ぶことは無料であることを伝える。 ・自分が住むところの住所は必ず覚えておく方がいいことを伝える。すぐわかる場所に貼っておくのもいい。 ・近くに人に助けを求めることも、とても大事であることを伝える。その際は大声で！(時間があれば練習したい。)</p>
--	--	--

コメントの追加 [0岩成4]: ゲーム感覚で皆が参加して学習できる、とても楽しく効果的な活動アイデアです！

コメントの追加 [0岩成5]: こういうところも愛商連さんらしい、非常にきめ細かで親切な対応ですね。さすがです！

		<p>懸念点 (受講生は「通話機能なしのスマートホンの可能性あり」。その場合、119 はかけること「こと」が出来ない。近くの公衆電話を探してかけるという方法もあるが、そこまで説明する時間はない。近くの人に助けを呼ぶ、頼れる人に連絡を取るのが現実的のように思う。)</p> <p>4. ふりかえり ・活動の最初に提示した 3 つの目標を再度提示し、一緒に振り返る。</p> <p>1 頭が痛いです。熱もあります。治したいです。 どこに行きますか？ (イラストで提示)</p> <p>2. 病院に行くときに持っていくのは何ですか？ お金を支払うのはいつですか？</p> <p>3. 救急車を呼びたいです。何番に電話をかけますか？ 近くの人に助けてもらいたいとき何と言いますか？</p> <p>最後にまとめとして、前もって準備をしておけば、何も怖くないことを伝える。</p>
--	--	---

コメントの追加 [0岩成6]: 受講者のさまざまな状況、背景を想定し、一つの対応法だけではなく、いくつか代替案を提示できるよう下準備しておくことは、指導者にとって大切な心構えですね。

<p><工夫したこと></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容容量が多いのでテンポよく進める必要があるが、生命に関わる重要な章のため、緩急をつけて、特に重要なところ（病院の選び方、緊急時対応）は強調して行う。 ・正確に理解して欲しい内容のため、人数が多いが、一人一人の反応に気をつけながら進めていく。 ・対話を多くしたいが人数が多いため、全員に対して呼びかける場合と、指名する場合をバランス良く組み合わせていく。 ・イラスト、写真、動画を使用し自分事としてイメージしやすいようにする。
-----------------------	---

コメントの追加 [0岩成7]: いずれも工夫点が的確で、とても有意義な研修になりそうです。期待しています！

<p><成果と課題></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この章が理解できると、日本で病気になった際、緊急事態の際に落ち着いて行動ができる。 ・伝えたいことがたくさんある章なので、時間内にどれだけポイントを抑えて進めるか。 ・講習内ではどれだけ理解してもらえるかがわかりにくい。個人の振り返りが必要。
----------------------	---

コメントの追加 [0岩成8]: 私たちにとっては常識のことでも、外国人の方に一度の研修で十分理解してもらうのはなかなか難しいものです。研修で印象に残ったことは定着しやすいですが、未経験で想像が及ばないものは理解し難いため、繰り返しのインプットや映像等で示す必要があります。理解確認の方法として、クイズ（○× 正答選択）やゲーム（動作、ロールプレイ等）形式でアウトプットさせるのも有効です。